

ホルムアルデヒドを含まない低臭・低VOC

タケトップ

水性特殊エマルジョン樹脂（骨材入り厚膜・軽歩行可）

防水材の保護美装

簡易防水

防塵美装



水性

1液

環境配慮

TAKEBAYASHI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD



タケトップ

防水材の保護美装・簡易防水・防塵美装

水性 1液 軽歩行可能 業務用

タケトップは、塗膜防水材やシート防水材の防水性能を長期にわたり維持するために欠かすことができない表面保護材です。また、優れた柔軟性、密着性、耐摩耗性は防水層の保護のみならず、簡易防水や防塵としてコンクリート・モルタル面の保護にもご利用いただけます。

特長

★安全・安心!

- ・水性で臭いが少なく、居住者や近隣の方、作業者に迷惑を掛けません。
- ・骨材入りでノンスリップ仕上りとなり、雨の日でも滑らず安全です。
- ・1液なので硬化不良の心配がありません。

★作業性抜群!

- ・ローラー、刷毛で簡単に塗布できます。
- ・水性なので用具のお手入れが容易です。
- ・骨材の沈殿が無く、攪拌することにより流動性が良くなり塗り易くなります。

★経済的にお得!

- ・メンテナンスが容易! 塗り重ねることにより防水性能もUPします。
- ・柔軟で、耐摩耗性にも優れ長寿命。
- ・乾燥が早いため、気温、面積によっては1日2回の塗布も可能で工期短縮。

用途

- ◆コンクリート建造物のベランダ、屋上、ルーフバルコニー、庇などへの簡易防水・保護美装
- ◆水性防水材、ウレタン防水材、ポリマーセメント系防水材、FRP防水材への簡易防水・保護美装
- ◆シート防水材(加硫ゴムシート防水・アスファルトシート防水・塩ビシート防水)への保護美装

容量 20kg角缶・5kgポリ丸容器

標準色



グレイ

(日塗工 N50近似)



グリーン

(日塗工 H37-50H近似)

標準塗布量

簡易防水仕様 1.5kg/m²以上

(左記塗布量を、2回以上に分けて塗布します。)

防塵美装仕様 1.0kg/m²以上

希釈

水道水にて0~2% (重量比) 以内

20kg缶の場合・・・400g以内
5kg缶の場合・・・100g以内

推奨用具

ローラー・・・砂骨ローラー (細目)、高粘度用ローラーなど

刷毛・・・ラスター刷毛 (毛が硬いもの) など

	1缶あたりの塗布可能面積	
	20kg缶	5kg缶
簡易防水 1.5kg/m ²	13.3m ²	3.3m ²
防塵美装 1.0kg/m ²	20.0m ²	5.0m ²

ベランダ簡易防水施工例 (オール1液工法)

工程	①下地処理	②下塗り1回目	③下塗り2回目	④中塗り	⑤上塗り	
作業	 <p>ゴミ、埃を取り除き洗浄します。洗浄後は、十分に下地面を乾かします。</p>	 <p>タケシールAQモルタルプライマーをローラー、刷毛等で塗布します。</p>	 <p>再度、プライマーを塗布します。少し艶のある滯色となる様に塗布します。</p>	 <p>タケトップをローラー、ラスター刷毛にて塗布します。</p>	 <p>再度、タケトップを塗布します。</p>	 <p>完了</p>
塗布量		0.2kg/m ²	0.2kg/m ²	0.75kg/m ²	0.75kg/m ²	
乾燥時間 (20℃)	晴天2日以上	1~2時間以上	2時間以上	2~3時間以上	12時間以上	

※上記施工例は、下地がモルタル、コンクリートの場合となります。
※施工時の条件により、乾燥時間は変化します。

保護美装仕様

(改修)

保護美装仕様は、塗布量を増やすことにより簡易防水工法とする事もできます。

塗膜防水下地の場合

水性防水材・ウレタン防水材・ポリマーセメント防水材の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシールAQ層間プライマー-A	0.1kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	②	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※ウレタン防水下地の塗り替えの場合、下塗り材にタケシールNo400プライマーを使用することができます。
 ※ウレタン防水材の上にタケシールAQ層間プライマー-Aを塗布する場合は、事前に密着試験を行ってください。
 ※新設のウレタン防水材に塗布する場合は、下塗りにタケシールNo400プライマーを使用してください。

防塵塗膜下地の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	100番程度のペーパー等にて既存防塵塗膜表面を研磨し、目あらし			
	②	タケシールAE211プライマー	0.15kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	④	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※下地研磨は充分に行ってください。不十分な場合、密着が悪くなります。


FRP防水材の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	60~80番程度のペーパー等にて、ワックス成分を研磨除去後、アセトンにて拭き取り			
	②	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※FRP防水下地に塗布する場合、下塗り材にタケシールNo400プライマーを塗布すると、より強固な密着が得られます。
 ※下地研磨は充分に行ってください。不十分な場合、密着が悪くなります。

シート防水下地の場合

加硫ゴムシート防水材の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシールゴムシートプライマー	0.15kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	②	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※カラーゴムシート防水の上には塗布しないでください。
 ※既存仕上げ材がシルバーの場合は、できる限り残る塗膜を除去してください。不十分な場合、密着が悪くなります。

アスファルトシート防水材の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシールAQ層間プライマー-A	0.15kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	②	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※下地の劣化状況により塗布量は変わります。施工前調査は十分に行ってください。
 ※既存仕上げ材がシルバーの場合は、できる限り残る塗膜を除去してください。不十分な場合、密着が悪くなります。

塩ビシート防水材の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシール塩ビシート用プライマー	0.12kg	ローラー、刷毛で塗布	3~4
	②	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

※洗浄は十分に行ってください。不十分な場合下塗り材の密着が悪くなります。他、シート表面が硬くなっていたり、凹凸がないシートの場合は、ペーパー等で目あらししてください。

簡易防水・防塵美装仕様

簡易防水仕様

モルタル・コンクリート下地の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシールAQモルタルプライマー	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	②	タケシールAQモルタルプライマー	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	③	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	④	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

防塵美装仕様

モルタル・コンクリート下地の場合	工程	使用材料名	塗布量 (kg/m ²)	塗布方法	乾燥時間 (h/20℃)
	①	タケシールAQモルタルプライマー	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	②	タケシールAQモルタルプライマー	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	1~2
	③	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2~3
	④	タケトップ	0.5kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	3~

下塗り材一覧表

品名	容量	標準塗布量	備考
タケシールAQモルタルプライマー	1.5kg・4kg・1kg	0.2kg/m ² × 2回塗り	モルタル・コンクリート用 1液型水性アクリルカチオン系下塗り材
タケシールAQ層間プライマー-A	1.5kg・4kg・1kg	0.1kg/m ² × 1回塗り	水性防水材・ウレタン防水材(改修)への塗り重ね・アスファルト系シート防水材への塗り重ね 1液型水性アクリル樹脂系下塗り材
タケシールゴムシートプライマー	1.5kg・4kg	0.15kg/m ² × 1回塗り	加硫ゴムシート防水材への塗り重ね 1液型水性アクリル樹脂系下塗り材
タケシールAE211プライマー	8kg缶×2・2kg缶×2	モルタル下地 0.15kg/m ² × 2回塗り 塗床下地 0.1kg/m ² × 1回塗り	防塵塗料・硬質床塗料への塗り重ね、モルタル・コンクリート用 2液型水性エポキシ樹脂系下塗り材
タケシールNo400プライマー	15kg・7kg・3.5kg・1.5kg	モルタル下地 0.25kg/m ² × 2回塗り ウレタン防水下地 0.1kg/m ² × 1回塗り	ウレタン防水材・FRP防水材への塗り重ね。(改修) モルタル・コンクリート用 溶剤1液型気硬化型ウレタン樹脂系下塗り材
タケシール塩ビシート用プライマー	1.5kg・3.5kg	0.12kg/m ² × 1回塗り	塩ビシート防水材への塗り重ね 溶剤1液型気硬化型ウレタン樹脂系下塗り材

※上表の塗布量は、下地の状況にて変化します。

タケトップの優れたプラスの性能

タケトップは特殊な樹脂を使用しているため、水性塗料でありながら溶剤型塗料を塗り重ねることができ、**プラス**のご提案が可能です。

耐水性・耐候性・耐摩耗性・防水性・日頃のメンテナンス性がUP!!

タケトップ (簡易防水) + 2液溶剤型ウレタントップコート仕上げ施工例

各種下地	工程	使用材料名	塗布量 (kg/㎡)	塗布方法	乾燥時間 (h)
	①	各下地に応じたプライマーを1回～2回塗り	規定量	ローラー、刷毛で塗布	規定時間
	②	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～3
	③	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～4
	④	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～4
	⑤	タケシール#3000トップコート	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	

タケトップ+ウレタン防水工法施工例

各種下地	工程	使用材料名	塗布量 (kg/㎡)	塗布方法	乾燥時間 (h)
	①	各下地に応じたプライマーを1回～2回塗り	規定量	ローラー、刷毛で塗布	規定時間
	②	タケトップ	0.5kg～	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～3
	③	タケトップ	0.5kg～	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～4
	④	タケシール1液NEO	1.5kg	ローラー、ラスター刷毛、コテ等で塗布	2～4
	⑤	タケシール1液NEO	1.0kg	ローラー、ラスター刷毛、コテ等で塗布	2～4
	⑥	タケシール#3000トップコート	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	
	⑦	タケシール#3000トップコート	0.2kg	ローラー、刷毛で塗布	

- ※下地の種類により下塗り材を選択してください。選択につきましては、前ページの下塗り材一覧にてご確認ください。
- ※タケトップ+ウレタン防水工法は、下地がアスファルト系シート防水の場合は、既存シート防水層の劣化状況によりピンホール穴や影れが発生する恐れがあり、施工は控えてください。
- ※上記記載施工法以外、タケトップの上に水系防水材を積層することも可能です。詳しくは、お問合せください。
- ※ウレタン防水材又は水性防水材を積層する工法では、下地の状況により補強クロスを貼り付け、塗膜補強が必要となる場合があります。

溶剤型塗料が使えない場合

耐水性・耐候性・耐摩耗性・防水性・日頃のメンテナンス性がUP!!

タケトップ (簡易防水) + 2液水性型ウレタントップコート仕上げ施工例

各種下地	工程	使用材料名	塗布量 (kg/㎡)	塗布方法	乾燥時間 (h)
	①	各下地に応じたプライマーを1回～2回塗り	規定量	ローラー、刷毛で塗布	規定時間
	②	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～3
	③	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～4
	④	タケトップ	0.75kg	ローラー、ラスター刷毛で塗布	2～4
	⑤	タケシールSSトップ	0.15kg	ローラー、刷毛で塗布	

※下地の種類により下塗り材を選択してください。選択につきましては、前ページの下塗り材一覧にてご確認ください。

塗膜物性

試験項目	試験条件	判定結果
硬さ	ショアーA	70
破断時の伸び (%)	110以上	120
付着性	テープ剥離試験	2.5 / 2.5
耐水性	浸漬7日間	異常なし
耐アルカリ性	10%苛性ソーダ7日間浸漬	異常なし
耐酸性	3%硫酸水溶液浸漬7日間	異常なし
耐候性	2年間屋外暴露	異常なし

性状

粘度 (20℃)	2000～20000 mPa・s
比重 (20℃)	1.4～1.8
加熱残分	70%
酸・アルカリ度 (PH)	8.0～9.5

施工上の注意

- ・塗布する前には、ゴミ、土、汚れ、油分等は充分に取り除きください。
- ・既存下地面に破損、損傷等がある場合は、適切な方法にて事前に補修してください。
- ・知見の無い下面に塗布する場合は、事前にテストを行い、異常がないことを確認の上塗布してください。
- ・下地及び不陸の補修には、下地調整材 (タケメルカチオンEV (原材)・タケメルファイラーA-1 (薄付け用粉体)・タケメルファイラーA-2 (厚付け用粉体)) を使用し補修してください。(詳しくは、個別カタログを参照ください。)
- ・希釈を行う場合は、水道水を2% (重量比) 以内でお願いします。
- ・夏期における施工の場合、乾燥が早くなります。希釈にて粘度と、施工可能時間を調整してください。
- ・塗布後6時間以内に降雨や降雪が予測される場合は施工を避けてください。
- ・気温が5℃以下湿度85%以上となる場合での施工は避けてください。
- ・開封後は、速やかに使い切ってください。水希釈した塗布液の長期保存は、砂の沈殿等の原因となります。
- ・塗布量は、随工仕様に従って規定量を塗布してください。
- ・タケシールAQモルタルプライマー及び下地調整材で使用した用具は、タケトップの塗布作業には使用しないでください。
- ・コンクリート・モルタル下地の場合、状態により強固な接着を望める場合は、タケシールA E 211 プライマー (水性エポキシ系) 又は、タケシールE-500 プライマー (溶剤エポキシ系) をご使用ください。
- ・カーゴムシート防水の上には、直接塗布はできません。
- ・塩ビシート防水の上には、専用の下塗り材 (タケメル塩ビシート用プライマー) を必ずご使用ください。
- ・溶剤型塗料の上に塗布する場合は、塗布後24時間以上 (気温20℃にて) 乾燥養生してください。

取扱い上の注意

- ・取り扱いの際は、適切な保護具の着用をお願いします。
- ・取り扱い後は、手洗い・うがいを十分に行ってください。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水および石鹸で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・目に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の処置を受けてください。被災者に意識がない場合には、口から何も与えないでください。
- ・吸入した場合は、新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受け、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・詳細な内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) を参照ください。
- 保管 室内の通気の良い場所で容器を密閉して保管してください。高温に注意してください。
- 廃棄 廃塗料、容器等は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- ・用途以外での使用につきましては、一切責任を負いません。
- ・本カタログに記載されていること以外につきましては、弊社までお問合せください。
- ・本カタログは製品改良に伴い、通知無く内容の変更する場合があります。ご了承ください。

品質保持期間 出荷後6か月

製造元

竹林化学工業株式会社

〒577-0836 大阪府東大阪市流川町3丁目1-43
TEL 06-6721-6165 FAX 06-6720-7308

お問合せ



Internet Paint Shoppe 塗料専門店 塗料の通販サイト
べいんとわーくす 建物館
<http://www.paint-works.net/tatemono/>